

クラミジアによる性感染症は、なぜ怖いのでしょうか？

症状がなくても、気になったら、できるだけ早く検査を受けましょう。

◆症状がでにくいいため、気がつかないうちに進行

クラミジアによる性感染症は、男性ではまず尿道炎、女性では子宮頸管炎として起こります。

感染初期にははっきりした自覚症状がないことが特徴ですが、男性の場合は2~3週間すると、排尿時に不快感や痛みを感じたり、尿道からの分泌物の色や性状が変わるなど、症状が出やすいので、比較的発見しやすいとされています。

しかし、女性では半数以上が自覚症状がないまま経過し、気がつかないうちに病状が進行したり、パートナーに感染したりすることから注意が必要となります。

◆治療しないで放置しておく、不妊症や母子感染の原因に

クラミジアによる性感染症を治療しないで放置しておく、子宮から卵管を通して腹腔内に広がり、激しい下腹痛(急性腹症)を起こすことがあります。また、子宮と卵管のまわりが癒着したり、卵管の組織が変化して不妊症になることがあります。

妊婦の場合には、まれに流産の原因になります。さらに、出産するときに、産道で新生児にクラミジアが感染して(母子感染)、結膜炎や肺炎を高頻度に引き起こします。

このような状況に至らないために、早期に検査を受け、できるだけ早く適切な治療を受けることが大切です。

性器でのクラミジアの感染経路

性器にクラミジア感染症のある母親から生まれた新生児の50~75%が分娩時に産道等でクラミジアに感染し、結膜炎や肺炎が起こります。

出産による産道感染(母子感染)

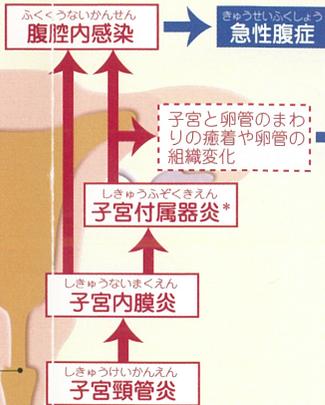
新生児

結膜炎 肺炎



*子宮付属器：卵巣と卵管を総称した名前

女性



●性器のクラミジア感染症(女性)の主な症状

- ・おりもの増加
- ・性交痛
- ・下腹痛
- ・内診のときの痛み

★まったく症状のないものが多い

性行為による感染

性器にクラミジア感染症のあるパートナーと性行為することで、クラミジアがうつります。

男性

クラミジア性尿道炎

副睾丸炎

●性器のクラミジア感染症(男性)の主な症状

- ・排尿時の痛み
- ・尿道からの分泌物
- ・睾丸の腫れ、痛み

1 クラミジア感染症は、外来で簡単に検査できます。



クラミジアに感染しているかどうかは、外来で子宮の分泌物や血液、尿を採取することで、簡単に検査することができます。

2 薬を服用するだけで、治療できます。



もし、クラミジア感染症と診断されても、クラミジアによく効く抗菌薬(飲み薬)がありますので、外来で治療することができます。医師の指示に従い、安心して治療を受けてください。

3 きちんと治っているか必ず確認してください。



治療中は、医師の指示に従って再受診し、きちんと治るまで治療を中断しないでください。性感染症の原因はクラミジア以外にもありますので、気になる症状があるときは、他の感染症を合併していないか、十分検査を受けてください。

4 パートナーの治療も必要です。



クラミジアは性行為で感染しますから、パートナーの治療もとても大切です。パートナーも早めに検査を受け、治療が必要な場合は、一緒に治療を受けるようにしてください。